

■新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

本年は新年早々から大きな災害・事故が起きました。

1日に起きました令和6年能登半島地震では220名を上回る方がお亡くなりになっておられます。謹んでお悔やみ申し上げます。そして被災された方には、謹んでお見舞い申し上げます。現在も大きな余震が続いており、1日も早い復興復旧を願いたいものです。

また2日にはJALと海上保安庁の航空機が衝突いたしました。海上保安庁の航空機も能登への災害復旧に行く予定だったと聞いています。海上保安庁の職員5名の方が亡くなられ、謹んでお悔やみ申し上げます。JALの航空機も炎上したのですが、幸い機長・CA等の対応の速さで全員を18分で無事救出できたことは、日頃からの訓練の賜物と思います。それにしても90秒に1機の航空機が離着陸している状況で、言葉だけのアナログ的な指示ではヒューマンエラーは起きると思われまますので、今後しっかりとした対策を望みます。

先日、全石連関係の創立60周年と70周年の記念式典が行われました。

森会長から今年も物価高騰対策も含めて、賃金アップを実施してほしいとの話があり、なかなか新しい人材が採用できない中、労働環境の厳しさから他業種への人材流出が起きる可能性があります。ぜひコストアップと思わず、投資と違って対応し、その為にも、しっかりと口銭を確保し利益が出せる健全経営に徹し、財源を確保して対応していただきたいとのことでした。

続いて齋藤経済産業大臣から、燃料油激変緩和対策補助事業も4月末で終わるのですが、混乱のないよう出口戦略をしっかりやりたいとの発言がありました。



国際情勢ですが、世界各地で紛争・戦争が起きております。来月で2年となるロシアとウクライナ戦争も収束が見えない状況ですし、イスラエルとハマスの戦争、台湾総統選挙での与党民進党頼氏の当選により中国の武力による圧力が高まれば日本にも緊張感が増すと思われまます。そして韓国と北朝鮮問題、アメリカのフーシ派攻撃による第5次中東戦争が始まっております。原油の99%を仕入れている日本にとっては、原油価格高騰が懸念されまます。

共同購買事業に関しては、年間キャンペーンも残り3か月となりましたが、ぜひ最後まで目標達成に向けて取り組みをお願いいたします。

今年は「甲辰」(きのえたつ)です。2024年辰年は、昨年まで努力してきたことが実を結んで成就する年と言われております。本年を更なる努力をすることで成功に早く近づける年となるよう共に頑張りましよう。

令和6年1月吉日
島根県石油協同(商業)組合
理事長 大賀誠一

■燃料油価格激変緩和対策事業に関する周知のお願い

燃料油価格激変緩和対策事業が本年4月まで延長されたことに伴い、引き続き消費者の方々に対してこの事業による価格抑制効果を実感してもらうため、資源エネルギー庁からステッカー(10枚)が各事業所に直接送られたところです。

皆様におかれましては、趣旨をご理解いただき計量機・釣銭機など給油時に消費者の方の目を引く場所への掲示を行っていただき積極的な周知・PRをよろしくをお願いいたします。

今回のステッカーは、効果をより具体的に実感いただくため、週ごとに補助額を記載できるデザインとなっており、同封されたペンにより繰り返しご活用いただけます。(同封のペンでなくともホワイトボード用のペンであれば使用可能です。)

最新の補助額は、原則として毎週水曜14時以降に、下記のホームページに記載されています。適宜書き換えてください。

<https://nenryo-gekihenkanwajp/>